

EIWA UNIVERSE

第27号

発行日 2023年2月27日

3年ぶりの一般公開！第57回楓祭！

ハイライト:

- **第57回楓祭！(1p)**
- **エコ大作戦を実施しました (3p)**
- **2023年度学納金の納入期日・寄付金のお願い (6p)**
- **2022年度後援会第1回理事会の開催について (8p)**

目次:

学長言	2
宗教委員会 ボランティアセンター	3
学科ニュース	4
研究室探訪 財務課	6
留学生センター キャリア支援課	7
後援会	8

11月19日(土)に開催した第57回楓祭は、3年ぶりの一般の来場者を招いての開催となりました。コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、通常2日間の開催を1日開催とし、来場者の検温



や手指消毒、マスク着用等の基本的な感染対策を徹底し、万全を期しての実施としました。

本年は短大生を中心に多くのゼミやサークルが参加して、3年前の楓祭を上回る30を超える模擬店等が出展しました。また、外部団体として静岡英和女学院短期大学第1期卒業生が所属するゴスペル団体「Joy Choir」をお呼びしコンサートを実施するとともに、トークライブでは元サッカー日本代表の武田修宏氏をお招きし、ご講演いただきました。

当日は10時過ぎ頃から本学で準備したシャトルバスは満員、路線バスも人が溢れるほどの900人近い来場者をお迎えし、学生を加え延べ1,000人以上の活気あ



る楓祭となりました。模擬店では午後の始めに完売するブースが出てくるなど、嬉しい叫びが聞こえてきました。コロナ以前の楓祭よりも多くの一般のお客様にご来場いただき、本学の様子や学生の活気ある姿をご覧いただけました。

ご来場いただいた方のアンケートでは、楓祭を楽しむことができたかの質問に対し、回答者全員が「はい」とご回答いただき、来年度以降の楓祭も来たいと思うかの質問には、86.9%の方が来年度以降も来たいとご回答いただけました。アンケートから非常に満足していただいたこと



がうかがえました。また、コメントの中には「呼び込みをしている方々がとても生き生きして楽しそうだった」や「元気で丁寧に接してくれた」等、本学学生たちの素晴らしい面を一般の来場者の方々に感じていただけたことが成果だと考えています。

来年度以降の楓祭についても、本年度の楓祭以上に一般の方をお招きできるよう、魅力的な企画を検討し、本学の活気ある姿を多くの方にご覧いただくとともに、楓祭が地域の活性化の一助になれるよう学生・教職員一同、準備をすすめていきたいと考えています。

(学生課 荒川)

あなた自身が特別な存在で、愛される価値のある人間です 学長 永山 ルツ子

わたし かみ あい つみ なだ ささ もの
 「私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、宥めの献げ物として、御子をお遣わしになりました。ここに愛があります。愛する人たち、神がこのように私たちを愛されたのですから、私たちも互いに愛し合うべきです。」

てがみ しょう せつ
 (ヨハネの手紙—4章10-11節)



永山 ルツ子
 (ながやま るつこ)
 学長

りんじん じぶん
 「隣人を自分のように愛しなさい」

(ルカによる福音書10章8節)

はったつだんかい にゆうじき おや よういくしゃ まも かん しんらいかん
 エリクソンの発達段階では、乳児期に親や養育者などから自分は愛され、守られていると感じることで、信頼感
 も い きほんてきしんらいかん むずか みな
 を持つと言われていました。この基本的信頼感がないと、人を信頼して、愛することが難しくなります。皆さんは、
 とくべつ そんざい だれ とお じしん
 ひとりひとりが特別な存在です。自分が誰かに愛され、そして神からも愛されることを通して、自分自身が愛され
 かち にんげん
 る価値のある人間だと思え、また隣人も自分のように愛することができるようになります。

にっぽんじよせい きょうよう たか じよしきょういく ひつよう おも しやだいこうちよう
 「日本女性の教養を高めるためには女子教育が必要である」との思いから、初代校長カナダ人女性のミス・カ
 いこく ち しずおかえいわがくじん そりつ しゅうねん たんきだいがくぶ だいがく
 ニングハムが異国の地に静岡英和学院を創立してから**135**周年、短期大学部は**56**周年、大学は**20**周年となり
 せつりつ きょういく とうじ がいこくじん おお こんなん ちが
 ます。設立や教育にあたって、あの当時、外国人の女性校長として多くの困難があったに違いありません。創立
 じよせいがくちよう しゅうにん みちび かんが げんご ぶんかはいけい ちが
135周年の今年、女性学長として就任したことは神のお導きだと考えています。言語や文化背景が違うからこ
 あいて かんがえかた そんちよう いっしょ まな きょうりよく せいちよう そりつしや おも
 そ、相手の考え方や文化を尊重し、一緒に学びあい、協力することで、成長することができるのです。創立者の思
 けんがく せいしん むね みな ちしき けいけん い たようせい へいわ
 いと建学の精神を胸に、皆さんには、この静岡英和学院大学で学んだ知識や経験を活かし、多様性のある平和
 しゃかい しやかい かつやく ねが
 な社会を作る人間として活躍してほしいと願っています。

か なか きゅうくつ じしゆくせいかつ おく だれ じゅう せいかつ おも
 コロナ禍の中で、窮屈な自粛生活を送っています。誰でも、いつかはもっと自由な生活がしたいと思います。そ
 だいきぼ かいはず ゆ す しょうひ ちきゅうおんだんか すず
 れでも、これまでのような大規模な開発や行き過ぎた消費は、地球温暖化を進めてしまうことにつながります。
 けつきよく みらい せだい かね かいけつ くだい のこ
 結局、未来の世代にお金では解決できない課題を残してしまうのです。

れんたい りんじん じぶん あい たす あ あい じっせん きゅうおんだんか と
 連帯するとは、隣人を自分のように愛することです。助け合うとは、愛を実践することです。地球温暖化を止め
 おお もくひよう む せかいじゅう りんじん れんたい たす あ なが みち かみ ささ
 るという大きな目標に向けて、世界中の隣人と連帯し、助け合っていきましょう。この長い道のりを、神さまが支え
 みちび
 導いてくださいますように。

宗教委員会

2022年クリスマス礼拝を振り返って

「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。御子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである」(ヨハネによる福音書03章16節 聖書協会共同訳)。

ロシアのウクライナ侵攻や旧統一教会の問題など、なにかと暗いニュースの多い2022年度でしたが、今年は世界が少しでも改善されることを祈って、クリスマス礼拝を捧げることが出来ました。21日に行われたクリスマス礼拝は、私にとっても最後のご奉仕となりました。学生たちも特別な思いを抱いて臨んでくれたクリスマスになったと思います。

キャンドルサービスは、人間社会学部の学生4名が壇上に上がり、オルガンの奏楽のなか厳かに行うことが出来ました。聖書朗読は、ゼミの学生3名と、昨年からずっと学内行事に参加してくれている学生が参加しました。学生たちは少し緊張した様子でしたが、礼拝が終わると、学内行事とともに作り上げる喜びを共有できました。今年はコロナの影響でサクルム君を配ることはできませんでしたが、沢山のお菓子を袋詰めにして、学生たちに届けることが出来ました。

恒例のクリスマス劇も行われました。演目は「忘れさせ屋 黒頭巾～聖なる夜の雪の誓い」で、性的マイノリティ(LGBTQ)をテーマとした物語です。挫折したり失恋したりと辛い記憶を忘れるために、「忘れさせ屋」を訪れた二人の男女でしたが、自分のアイデンティティをまもるためには記憶を全て消すこと

はできない。そこで男らしさ、女らしさではなく、性差を越えた自分らしさに気づき、自分自身を生きていく、そんな若者の未来を描いた

作品でした。今年もこのクリスマス礼拝が学生たちにとってかけがえのないものとなっていることを感じることができました。

クリスマスメッセージは、「絶望から希望へ」というタイトルで行いました。説教の中では言いませんでしたが、戦争やカルトで苦しんでいる隣人を心の中で思いながら、そして今、絶望の中から生きる希望を見出そうとする友人のことを覚えてメッセージを届けました。「イエスは**唯一神に選ばれた者として、神に見捨てられた者である**。イエスが神に見捨てられた者となってくださったことにより、この世界には**誰一人神に見捨てられた者はいない**」。

2022年は世界が悲しみに包まれた年です。この現実を直視すれば、なにもなかったかのように日常をやり過ごすことなどできないでしょう。キリスト者として、そして一人の知識人として、世界の怒りと悲しみを絶えず考え続ける、そのような新たな使命を与えられたと感じた一年でした。

(宗教主任 大坪)



ボランティアセンターだより

エコ大作戦を実施しました！



毎年恒例のエコ大作戦を本年度も実施しました。この活動は本学の正門前にある桜公園を池田山団地の住民の方々と協働して清掃・整備する活動です。

本年度は学生・教職員・池田山団地の方々の総勢19名で作業しました。年一回の作業のため、ベンチや看板は草やツタに覆われ、当初は見ることもできませんでしたが、作業が進むにつれ、本来の姿を取り戻していきました。ツタが多く、草刈

り機が使えない中、手作業で草を刈る者、集める者、運ぶ者等、役割分担が自然とできていき、効率よく作業がすすんでいきました。作業後には、こんなところにベンチや水飲み場があったんだと自分たちの活動が成果として目に見えて捉えることができたため、参加した学生は大きな達成感を得たようでした。

今後は地域住民の方々のため、ボランティアセンターとして常に桜公園が正常な姿を保てるよう、継続的な活動ができないか検討していく予定です。

(ボランティアセンター 荒川)



人間社会学科

9月28日より人間社会学科長となりました川島美奈子です。どうぞよろしくお願いたします。学科の活動は以下の通りです。

心理メジャーでは、12月24日（土）に「心理メジャー卒業研究発表会」の開催が予定されています。今年度は事前に研究発表動画を視聴してもらおうなど新しい試みを行っています。

観光マーケティングゼミでは、総合旅行業務取扱管理者に2名が合格しました。また日本自動車連盟（JAF）と大井川流域実行委員と協働で、自動車で観光スポットを巡るドライブスタンプラリー、中部横断自動車道ドライブスタンプラリーを企画し、コンテストに出場しました。「JAF静岡2022学校対抗ドライブスタンプラリー選手権」優秀賞、「しずおか学生ドライブスタンプラリーコンテスト2022」最優秀賞、「東海・北陸学生ドライブスタンプラリーコンテスト2022」、優秀賞を獲得しています。

英語メジャーでは英語総合力養成のために必修授業内でe-learningを活用してきました。今年度から学生主体の学習タイミングを重視し、希望者への補助に切り替えました。

日本古典文学ゼミは、令和4年度しずおか中部連携中枢都市圏地域課題解決事業「和菓子バル」イベントを通じた、大井川川越遺跡の

PR手法の提案（島田市）」に参加して、大井川蓮台体験や俳句創作で盛り上げました。

経営ゼミでは静岡市産学交流センターの講師をお招きし「ビジネス実践講座」で起業・事業企画経験をしました。経営数値を計算しながら実践的な商品開発・品揃え計画を行いました。

（人間社会 川島）



コミュニティ福祉学科

御名を賛美致します。コミュニティ福祉学科（以降、学科）は、山田学科長の主への祈りに始まる学科会を重ね、その歩みを「キリストと十字架に表される神の義を、恵みとして受け取ることへ招かれる創造主」に力強く守り導かれており、心から感謝致しております。

学科の先生方は互いに支え合い、よくまとまっています。私も、体調故にご迷惑をかける事態を心配し、頑張り過ぎずに助けを求めようと考え、そうしたところ、学科の先生方から厚く支えて頂いたすばらしい経験をつい最近いただき、主と皆様へ心から感謝申し上げます。部管長や各種委員としての学科の先生方のお働きも顕著で、感謝に耐えられません。

さて、2006年3月（本学4年制大学開学4年後）から、本学科（当時は地域福祉学科）は卒業生を送り出し続け、早いもので、2023年3月で17回目となります。

ここで、本学在學生や卒業生とのゼミをきっかけとした交流（中原ゼミの場合）について、主に感謝しつつ、少しだけ紹介させていただきます。

元中原ゼミ生（1期生）のひとりから卒業後結婚式に招かれ、お子さんが大きくなった今も、毎年近況を知らせてくれています。またコロナ自粛が始まる直前に、別の元中原ゼミ生の結婚式に招かれました。その少し前に、元中原ゼミ生（女性）への「結婚おめでとう動画」を、友達思いの元中原ゼミ同期生（女性）から依頼されて送ったことも大切な記憶です。

過日、数年前に卒業した元中原ゼミ生が「人を幸せにすることを目的とする」との新しい職場へハンティングされて移ったこと、元気なこと、上司は大変好ましい感じの方であること等がわかり、驚きましたが安心しました。彼に元中原ゼミ同期生の消息を尋ねたところ、福祉施設に就職した一人とよく会っており、元気とのことでした。彼らに仲の良い交流が続いていることを知って、大変うれしく思います。

中原ゼミ生に限らず、在學生や卒業生との関係を主に感謝しています。引き続き、学科への主の御業にご注目下さい。皆様のお祈りに感謝申し上げます。

（コミ福 中原）

現代コミュニケーション学科

2022年度インターンシップ実施報告

短期大学部現代コミュニケーション学科では、夏休み期間中8月25日～9月11日に合計4名の1年生がインターンシップを行った。インターンシップ先は以下のとおりである。

インターンシップ先	日程	研修学生数
ホテルアンピア松風閣	8/25～28	1名
稲取赤尾ホテル	8/26～9/10	2名
呉竹荘	9/8～11	1名

インターンシップとは、社会に出る前に、職場やそこで働く人たちの雰囲気や環境、仕事内容を現場の空気を肌で感じながら職業体験を行うこ

とである。また自分が働くことで現実を知り、自分自身が働くことの意識を芽生えさせることができ、職業選択のミスマッチングを防ぐというメリットもある。実習先では制約があることや現場の教育的指導者がいないと受け入れが難しいという現実もあるため、それぞれの施設で期間にはばらつきがある。今回は稲取赤尾ホテルでインターンシップを行った学生は16日間という比較的、長期間での研修となった。ホテル所有のアパートで寮生活を行いながら、仕事に取り組むという厳しい環境での研修をやり遂げ、ホテルから高評価をいただくことができた。職場は必ずしも思うように整えられた環境ではなかったが、最後まで挫折することなく終了できたことに安堵している。コロナ渦の中にありながら、積極的にインターンシップに参加した学生たちにはこの経験が就職活動の糧になることを願うばかりである。

(現コミ 伊藤)

食物栄養学科

11/19(土)に秋晴れのもと2022年度の楓祭が開催され、食物栄養学科からは5団体8店舗の模擬店が参加しました(豚汁、牛筋煮込み、焼き芋、ベビーカステラ、パンケーキ、射的、ストラックアウト、ファーマーズマーケット)。

思い起こすと昨年度はコロナ禍の真っただ中にあり、楓祭自体が存亡の危機でした。そのような過酷な条件下、昨年の2年生と1年生が多数模擬店に参加し、何とか楓祭を中止せずに本学の伝統を繋いだ経緯がありました。そして、昨年の1年生が今年は更に成長し、力強く楓祭で活躍する光景を目にして本当に頼もしく感じました。特に本学科学生は講義や実習で学んだことを生かし、大量調理での予期せぬハプニングにも対応し、ほぼ全ての模擬店が完売となりました。普段は「自主性が弱い」と



か、「少し頼りないな」と感じていた私の感覚は全て杞憂だったと考えを改めました。

現代コミュニケーション学科の模擬店や展示も盛況で、さながら「短大祭り」の様相が

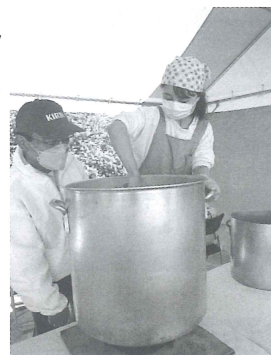
強く見受けられる2022年度の楓祭でした。

来年度は本来の2日間開催が復活し、大学全体で楓祭が盛り上がることを期待します。また可能であれば、本学科の卒業生にも模擬店への出店で参加頂けたらと考えております。この楓祭の企画・準備・出点などの経験をもとに、本学科の学生諸君が更に成長し、

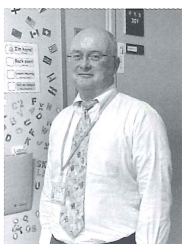
今後社会に出てから活躍されること信じております。また、急な依頼にもかかわらず、ステージで素敵なパフォーマンスを披露されたゴスペル「Joy Choir」、スペシャルトークライブにご出演くださった元サッカー日本代表武田

修宏氏にも、感謝いたします。本年度楓祭の参加者・関係者の皆様、来場者の皆様、本当にありがとうございました。

(食物栄養 庄司)



研究室探訪



Richard Woodward
(リチャード・ウッドワード)
所属: 現代コミュニケーション学科
職名: 准教授
研究テーマ: English Education, TEFL

現在、フランスの大学の通信教育で、TESOL (Teaching English to Speakers of Other Languages) の修士の最終課題を終えようとしています。学位の勉強をしながら学んだことは、専門家として知識を上達させ続けることの価値です。自分の教育方法を客観的に見て、第二言語習得の分野における最近の傾向について学び、新しい知識を得る機会になりました。これにより、英和短大で教えている科目をリアルタイムで改善できるという大きな利点がありました。シラバスの構造、内容や科目の評価方法について、専門知識に基づいた効果的な改善ができたと思います。

過去4年間で執筆した論文には、「シンハラ語を母国語とする学生の第二言語のインターランゲージの分析」「文法のタスクベース指導方法」「日本語と英語の音韻論の対比」「評価方法」「科目の開発方法」および「グループワークとピアフィードバックによる個人の筆記力への影響」が、あ

りました。これらの論文のテーマは大学での仕事に直接活かされていることを表しています。

スリランカの学生の英語を調査したことで、彼らの間違いやその修正方法だけではなく母国語であるシンハラ語

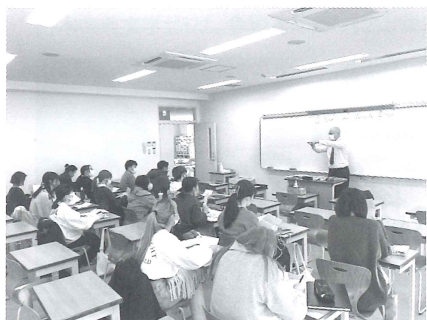
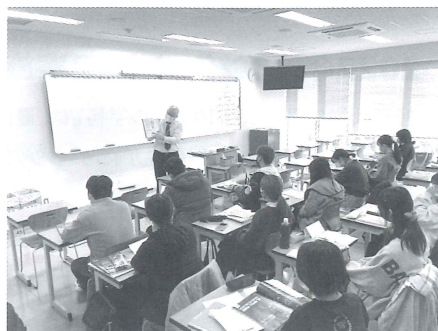
を知る機会となり、それが英語学習に干渉する事を深く理解できました。同様に英語と日本語の音韻論の違いを詳細に研究すること

で、日本人学生

の英語の発音に関する問題点を把握しました。この結果、将来的に英語発音の集中講義を新設する必要性を確信しました。

タスクベース指導方法、評価や科目開発の方法の論文は、実際の授業実施に一番影響がありました。研究でアクティビティを作成し改善するまでのプロセスが含まれていたからです。その中の一つは、後期の科目「Writing & Discussion」で使用しているポートフォリオ評価法です。最終的にポートフォリオで、コースを通してのライティングスキルの進歩、長所と短所に関する個人的な考察、ピアフィードバックに対する反応を把握することを目的としています。つまり継続的な評価方法です。

修士課程は2023年2月に修了予定です。教室ベースの研究は、専門能力開発の手段として価値がある事を実感しました。また、教えている科目の質を更に向上させるための刺激となりました。学生の英語力を上達させるためのより良い方法と、実力を把握する評価方法を常に模索しています。



財務課

～ 令和5(2023)年度 学納金の納付書発送及び納入期限について～

	前 期 ※1	後 期 ※1
納付書発送時期	令和5(2023)年4月上旬	令和5(2023)年9月上旬
納入期限 ※2	令和5(2023)年4月25日(火)	令和5(2023)年10月2日(月)

※1 学納金は、前期と後期の2期に分けて納入いただきます。

但し、新入生(1年生・3年次編入生)の前期分は、入学手続き時に納入済みです。

※2 家庭の事情等により、期限内に学納金の納入が困難な場合は、分割・延納が可能(別途手数料あり)ですので、上記の納入期限までに学生課(Tel:054-264-8873)にご相談ください。

～ 寄 付 金 の お 願 い ～

将来を担う学生のために皆様からの温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。

学校法人HPの「インターネット経由」または、「指定振込用紙」でお申込ください。

留学生センターだより

楓祭開催!

今年は3年ぶりにお客さんを迎えるの通常開催となり、留学生センターからは模擬店へ2ブース出展することができました。学生スタッフ代表の佐藤藍子さん、副代表の岩澤春奈さんを中心に、前期から毎週一回会議を行って計画を練り、楓祭が近づくと毎日集まって、材料の調達や試食会などを行い、準備を行いました。3年ぶりということもあり、スタッフ全員通常開催の経験がなく、手探りの状態からのスタートでしたが、今年は学生スタッフの母国料理を提供することになり、皆で決めた2種類の母国料理(スリランカのカットレットとベトナムのフォー)を調理販売しました。好天にも恵まれ、900人を超える来場者があり、カットレット170食、フォー155食すべて完売となりました。計画、そして大量の仕込みも苦労しましたが、大成功に終わり、学生スタッフも大満足でした。



県立焼津中央高校との交流会

コロナ禍が落ち着き、高校や保育園、地域交流など様々な交流事業が再開されました。7月10日(日)、県立焼津中央高校との交流会には留学生のディルシャニ ペレラさん(人社4年 スリランカ)、リン テツ テツ さん(人社3年 ミャンマー)、フマガイン メヌカさん(人社3年 ネパール)、ウオン ル シェンさん(人社3年 マレーシア)、フェリアン プラセチア クルニアさん(現コミ2年 インドネシア)5人が招待され、英語を用いた母国紹介と高校生16人とのグループワークが行われ、楽しい時間を過ごしました。皆さん事前にスライドを用意して、流ちょうな英語で楽しくわかりやすく発表してくれました。(留学生センター 平井)



キャリア支援課

2022年度第2回 「保護者ができる就職支援」セミナー

12月3日(土)に就職を希望する大学1年～3年生、短期大学部1年生の保護者の皆様を対象に、2022年度第2回「保護者ができる就職支援」セミナーを前回5月に続きLIVE配信にて開催いたしました。

今回は大変うれしいことに、第一部で人間社会学科4年生3名が

わたしの就活報告

就職希望者 人間社会学科 人間社会学科

④ やってよかったこと

- 企業探し → 様々なサイト/アプリ・マイナビ企業検索会
- 自分分析 → 過去の振り返り・いろんな人と会話をする
- 企業探し → キャリア支援課・ハローワーク・フォロー講座
- 面接練習 → 同上・行わないと何ともわからない後受する
- 面接対策 → 同上・対策本を読み勉強・傾向を知る
- 積極的にキャリア支援課に行ったこと

様々な情報が手に入る

就活中のスケジュール

12/1	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
27	28	29	30	31	31				

就活中重要なこと

- ☆ 自分を追い詰めすぎない
 - 「内定」だけがゴールではない
 - 失敗しても他にも選はたくさんある
- ☆ 友達との情報共有
 - どこの企業のインターンに行ってきたか、
 - そこでどんな経験をしたか、
 - どこの企業の選考を受けて、どんな質問をされたか など

インターンシップ

- ◆インターンシップに参加するメリット
 - ・実際に働いている社員の方とお話しできる・雰囲気がわかる
 - ・就職内容が詳細までわかる
- ◆オンライン開催のメリット
 - ・交通費がかからない
 - ・1日に複数回のオンラインに参加可能
 - ・体力的な疲労が少ない

就活期間

- ・就活の期間：大学3年5月～大学4年6月

就活の早期化が進んでいる
(コロナ前：大学3年3月～4月スタート)

「わたしの就活報告」と題し、就活の時期や期間、インターンシップや企業説明会について、頑張ったこと・大変だったこと・やってきてよかったこと・志望企業の決め方などについて、それぞれの体験に基づき保護者の方だけでなく、先輩の皆さんへのメッセージも込めて発表してくれ、ご参加いただいた保護者の皆さまから大変好評をいただきました。

第二部では、聖徳大学ラーニングデザインセンター 准教授 天川勝志先生を講師にお迎えし、「人生100年、就業半世紀時代 - 変わりつつある働き方に向けての会社選びとお子さまの育成課題 - 」と題し、ご講演いただきました。最近の就活トレンドである早期化・長期化について、採用選考スケジュールの現在と今後の状況をはじめ、笑顔でのあいさつの大切さや他人では指摘しにくい学生本人のクセや性格について、家族だからこそできるサポートについてお話しいただきました。

第一部、第二部ともにオンデマンド版として対象家庭にご案内済みです。ご希望がありましたら、レジュメの発送もいたします。お子さまの就職活動に向き合う材料としていただけましたら幸いです。

(キャリア支援 後藤)

2022年度 第2回
「保護者ができる就職支援」セミナー

人生100年、就業半世紀時代
- 変わりつつある働き方に向けての会社選びとお子さまの育成課題 -

聖徳大学 ラーニングデザインセンター 准教授
天川勝志 先生
聖徳大学 非常勤講師
株式会社マツセイ・キャリア 講師
天川 勝志

第2部「人生100年、就業半世紀時代 - 変わりつつある働き方に向けての会社選びとお子さまの育成課題 - 」
天川勝志 先生

後援会だより

2022年7月26日に、2022年度静岡英和学院大学及び静岡英和学院大学短期大学部後援会第1回理事会が開催されました。

理事の皆様にご3つの議案（2022年度役員選出、2021年度事業報告及び決算、2022年度事業計画及び予算）をご審議いただき、すべてご承認いただきました。

後援会会則では、後援会の活動として、学生の厚生福祉及び

奨学、施設設備助成、研究活動助成、地域社会への貢献促進を行うものとされております。

今年度と来年度の2カ年で、コンビ二前のラウンジの机と椅子の交換を計画しております。そのほか、学内の樹木剪定や定期清掃、学内給付奨学金等の助成を継続し、学生の皆様がより良いキャンパスライフを過ごすことができるようサポートしてまいります。

(総務課 倉田)

2022年度 後援会役員名簿

(順不同)

No.	役職名	氏名	備考
1	会長	池田 恵一	
2	副会長(理事)	川瀬 昌之	(兼)維持協力会常任理事
3	副会長(理事)	河岸 照美	
4	常任理事	松浦 好朗	
5	常任理事	大石 恵子	(兼)学院評議員
6	会計(理事)	新名 隆大	(兼)維持協力会会計
	会計	倉田 怜実	事務部総務課主事補
7	監事	桑原 えみ	(兼)維持協力会監事
8	監事	鈴木 佳奈子	
9	理事	三吉 範行	
10	理事	原 毅	
11	理事	桐原 健一	
12	理事	田宮 美穂子	
13	理事	原川 恭子	
14	理事	千野 有希子	
15	理事	岩田 理香	
16	理事	中端 晃子	新規役員
17	理事	舟山 浩美	新規役員
18	理事	宮園 恭子	新規役員
19	理事	古谷 真由美	新規役員
	事務委員	松澤 重喜	事務部長
	事務委員	杉田 愛子	事務部総務課主任

2021年度 決算書

収入の部計 66,063,753 円
支出の部計 18,379,045 円
翌年度繰越額 47,684,708 円

収入の部

(円)

科目	予算額	決算額	差異	摘要
会費	30,000,000	28,470,000	1,530,000	会費 年間@30,000円
利子等雑収入	100	229	△ 129	
預り金取入	0	0	0	
前年度繰越金	37,593,524	37,593,524	0	
計	67,593,624	66,063,753	1,529,871	

支出の部

(円)

科目	予算額	決算額	差異	摘要
会議費	50,000	24,116	25,884	
役員会費	50,000	24,116	25,884	理事会等経費
事業費	22,830,000	18,225,882	4,604,118	
施設設備費	5,060,000	4,645,436	414,564	環境整備 等
広報関係費	6,500,000	5,749,290	750,710	国外広告(UR特選駅・東静岡駅) 等
会報発行費	120,000	97,482	22,518	学報英和ユニバース(年2回発行)
学生費	11,050,000	7,683,674	3,366,326	学内奨学金・卒業生へ記念品贈呈 等
文化活動費	0	0	0	
慶弔費	100,000	50,000	50,000	
事務費	400,000	129,047	270,953	
事務費	30,000	1,059	28,941	
消耗品費	50,000	0	50,000	
通信運搬費	150,000	20,988	129,012	郵送料・振込手数料 等
印刷製本費	100,000	77,000	23,000	
渉外費	70,000	30,000	40,000	
未払金	0	0	0	
雑費	100,000	0	100,000	
予備費	44,213,624	0	44,213,624	
計	67,593,624	18,379,045	49,214,579	



静岡英和学院大学
SHIZUOKA EIWA GAKUIN UNIVERSITY



静岡英和学院大学短期大学部
SHIZUOKA EIWA GAKUIN UNIVERSITY JUNIOR COLLEGE

〒422-8545
静岡市駿河区池田1769
TEL 054-261-9201
FAX 054-263-4763

最新情報 <http://www.shizuoka-eiwa.ac.jp>
ご意見・ご感想 info@shizuoka-eiwa.ac.jp

企画・編集 学報委員会